

# 主要事業の概要

第2次恵那市総合計画後期基本計画



恵那市公式キャラクター エーナ

令和5年8月31日  
まちづくり企画部企画課



# 目次

---

1. 安心	.....	P3 ~ P8
2. 快適	.....	P9 ~ P13
3. 活力	.....	P14 ~ P20
4. 担い手	.....	P21 ~ P23





# 1. 安心して子どもを育てられる

# 安心

## 令和4年度実施



リモート園ライブ事業を実施

ICTを活用し、東京のスタジオとこども園をオンラインでつなぎリモートライブを実施



リモートライブの様子



イメージ図

## 令和5年度拡充



不妊治療費の助成を拡充

生殖補助医療費の保険適用外となった治療費の一部の助成を開始

### 目標指標の推移

指標名	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	目標	評価
1. (1) 出生数に対する小学校入学児童数の伸び率(単位: %)	4.8	結果	4.5	3.0				9.2	E
		達成率	0.00%	0.00%					
1. (2) 理想とする子ども数と実際に持つつもりの子どもの数の差(単位: 人・単年)	0.6	結果	0.49	0.56				調査ごとに縮小	E
		達成率	100.00%	0.00%					
1. (3) こども園保護者評価の「園経営及び教育保育」について「とてもそう思う」の割合(単位: %)	57.8	結果	59.3	63.9				62.0	S
		達成率	36.67%	100.00%					
2. 放課後児童クラブ待機児童数(単位: 人・単年)	0	結果	0.00	0.00				0	S
		達成率	100.00%	100.00%					
3. 学習支援講座「恵那地域未来塾」の開設講座数(単位: 講座数・単年)	10	結果	10.0	10.0				20	E
		達成率	0.00%	0.00%					

### 評価の内容

「1. (1) 出生数に対する小学校入学児童数の伸び率」では、子ども子育て支援、母子保健、妊娠・出産支援の各事業を実施したものの、伸び率の上昇には繋がらなかった。目標達成のため市の子育て支援策のPRの強化と、公園の整備など多方面から子育て支援の充実を図る。

「1. (2) 理想とする子ども数と実際に持つつもりの子どもの数の差」では、理想2.38人、実際1.82人と0.56人の差となり基準値を下回ったが、初年度より増加したため未達成。令和5年度には、出産、子育て応援給付金の給付や多子世帯への支援の充実を図ることにより、安心して子どもを育てられる環境を整備する。

「1. (3) こども園保護者評価の「園経営及び教育保育」について「とてもそう思う」の割合」は目標水準を上回った。引き続き改善を図るとも、保育教諭の確保に努める。

「2. 放課後児童クラブ待機児童数」では、初年度に引き続き目標を達成した。担い手(支援員)確保のため、クラブ職員の人材確保と、支援員の資格取得へと繋げるため、継続して働き続けを行う。

「3. 学習支援講座「恵那地域未来塾」の開設」では、初年度に引き続き新たな講座が開設できず横ばいとなった。課題となっている講師の担い手確保に務め、魅力ある学びを提供する。

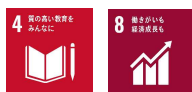




# 2. 安心して働ける

安心

令和4年度実施



えーなお仕事探検隊

地元事業所の魅力の発見と将来の主体的な進路選択の基盤を作ることを目的に、小学生を対象にした体験型企業見学を実施



体験の様子



校内企業説明会イメージ

令和5年度拡充



市内高等学校での校内企業説明会を開催

若者の市内定着と企業の人材確保を目的に市内高校の3者面談時期に合わせて、校内企業説明会を開催

### 目標指標の推移

指標名	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	目標	評価
1. (1)新規高卒者のハローワーク恵那管内事業所への就職者数割合(単位:%)	31.1	結果	29.82	36.54				35.0	S
		達成率	0.00%	100.00%					
1. (2)市外転出者のうち「職業上」を理由とする者の割合(単位:%)	44.2	結果	41.5	39.03				41.4	S
		達成率	96.43%	100.00%					
2. 就労継続支援A型及びB型事業所への通所者数(単位:人・単年)	198	結果	201	203				264	E
		達成率	4.55%	7.58%					
3. ワークライフバランス推進企業数(単位:事業所数・単年)	85	結果	69	80				120	E
		達成率	0.00%	0.00%					

### 評価内容

「1. (1)新規高卒者のハローワーク恵那管内事業所への就職者数割合」では、目標を達成する結果となった。引き続き、市内事業所の情報発信を行うとともに、大学生等の市内定着に向けた取り組みが必要。

「1. (2)市外転出者のうち「職業上」を理由とする者の割合」では、コロナの影響による地元志向の高まりや、新規求人が増加したことから目標を達成する結果となった。今後も新たな雇用の場の創出とテレワーク等の働き方の提案を行い市内定着の増加を図る。

「2. 就労継続支援A型及びB型事業所への通所者数」では、通所者数が微増であった。委託相談事業所等と連携し、潜在者の掘起こしを強化と、新たな施設の設置に向け取り組む必要がある。

「3. ワークライフバランス推進企業数」では、制度の事業所への周知の強化と、企業説明会で登録企業の表示をするなど、企業のイメージアップに繋げ、登録についてのメリットを出すことで登録事業所の増加を図る。





# 3. 安心して日々を暮らせる

安心

令和4年度実施



創エネ、畜エネを推進



蓄電池

脱炭素社会の構築にむけ、住宅の蓄電池システムや自動車充電システム等の設置に対し補助金を交付

令和5年度新規



介護人材の育成・確保



介護のおしごとフェア

不足する介護人材の確保のため、修学資金の貸し付けや、資格取得に対し助成金を交付

目標指標の推移

指標名	基準値						目標	評価
		R3	R4	R5	R6	R7		
1. 介護保険認定率(単位:%)	17.0	結果	18.1→17.6	17.4			18.6% 以下	S
		達成率	100.00%	100.00%				
2. 障がい者理解教育推進校として障がいについての理解促進に取り組む学校の児童・生徒数(単位:人・単年)	148	結果	186	352			430	B
		達成率	13.48%	72.34%				
3. 福祉総合相談窓口の連携強化(単位:件・単年)	130	結果	134	130			180	E
		達成率	8.00%	0.00%				
4. (1)個別施設管理計画に基づく維持・補修・更新の実施状況(橋梁)(単位:橋・累計)	2	結果	7	8			14	C
		達成率	41.67%	50.00%				
4. (2)重要給水施設管路の耐震化率(単位:%)	44.5	結果	47.0	48.4			57.3	D
		達成率	19.53%	30.47%				
4. (3)汚水処理施設の耐震化率(単位:%)	90	結果	90	90			100	E
		達成率	0.00%	0.00%				
5. 1世帯1日当たりのごみ排出量(単位:kg・単年)	2.0	結果	1.94	1.78			1.7	B
		達成率	20.00%	73.33%				

評価の内容

「1. 介護保険認定率」では、高齢化が進む中、介護認定者を抑える必要がある。目標値を達成しているが、引き続き高齢者が社会参加する機会の創出や、ICTを活用した取り組みを支援する。

「2. 障がい者理解教育推進校として障がいについての理解促進に取り組む学校の児童・生徒数」では、第2年度の達成水準を上回る結果となった。引き続き実施校の増に向けた取り組みを行う。

「3. 福祉総合相談窓口の連携強化」では達成水準に達していない。複雑化する相談に対応するため、重層的支援体制を構築し、複合課題の終結に向け、民生委員をはじめとした地域の福祉支援機関との連携を強化する。

「4. (1)個別施設管理計画に基づく維持・補修・更新の実施状況(橋梁)」では、第2年度の目標水準を達成することができた。引き続き計画的に実施していく。

「4. (2)重要給水施設管路の耐震化率」では、目標水準に届かなかった。事業実施のための補助金や財源の確保と計画的な事業実施が必要となる。

「4. (3)汚水処理施設の耐震化率」では、恵那市浄化センターを稼働しながら工事するため、5カ年計画で令和7年度に達成する見込み。

「5. 1世帯1日当たりのごみ排出量」では目標水準を達成することができた。今後は生ごみを資源として回収する方法を検討し、生ごみの減量を目指す。





# 4. 健康な体を維持できる

安心

令和4年度実施



山岡健康増進センターの大規模改修

施設の長寿命化を図るため、令和4年度は外壁や電気設備の改修等を実施



山岡健康増進センター外観



国保山岡診療所

令和5年度継続



恵那市地域医療ビジョン策定事業

公的医療機関の運営やニーズに合わせた医療提供の在り方をまとめた、地域医療ビジョンを策定

目標指標の推移

指標名	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	目標	評価
1. 医療環境が「やや良い」以上と感じている市民の割合 (単位: %)	17.7	結果	14.6	17.2				18.0	E
		達成率	0.00%	0.00%					
2. バイスタンダーCPR実施率(単位: %)	40	結果	52.2	46.2				43.0	S
		達成率	100.00%	100.00%					
3. (1) 高血圧の改善(中等症高血圧160/100mmHg以上の者の割合)(単位: %)	男性8.9 女性5.8	結果	男性7.8 女性5.7	男性9.0 女性7.9				男性5.7 女性4.3	E
		達成率	男性34.38% 女性2.17%	男性0.00% 女性0.00%					
3. (2) 糖尿病の改善(ヘモグロビンA1c6.5%以上の治療割合)(単位: %)	男性64.5 女性60.0	結果	男性66.0 女性64.4	男性61.0 女性50.4				男性75.0 女性75.0	E
		達成率	男性14.29% 女性29.33%	男性0.00% 女性0.00%					

評価の内容

「1. 医療環境が「やや良い」以上と感じている市民の割合」では初年度より改善は見られたものの基準値以下となった。今年度策定する地域医療ビジョン時代のニーズに合わせた医療提供の在り方をまとめ改善を目指す。

「2. バイスタンダーCPR実施率(救急の現場に居合わせた人による心肺蘇生法)」では、過去からの救命講習の結果が現れ目標を達成した。しかし全国平均は約50%となるため引き続き講習を継続し実施率の向上に努める。また蘇生率の向上の視点でも講習も実施する。

「3. (1) 高血圧の改善(中等症高血圧160/100mmHg以上の者の割合)」では、男女ともに基準値を上回る結果となり目標の達成とはならなかった。改善に向け特定健診等で個別支援を行い、未治療者・治療中断者は医療機関受診に繋げるとともに、減塩チャレンジ等の周知を図る。

「3. (2) 糖尿病の改善(ヘモグロビンA1c6.5%以上の治療割合)」では、男女とも基準値を上回る結果となった。改善に向け特定健診等で個別支援を行い、未治療者・治療中断者は医療機関受診に繋げる。またブルーライトアップ事業の実施し啓発を図る。





# 5. 犯罪や事故から身を守る

安心

## 令和4年度実施



### 通学路グリーンライン整備

通学児の通行帯を明確にするとともに、車からの視認性を向上させるため、通学路グリーンラインを整備



武並町119号線



キッズゾーンマークの設置

## 令和5年度継続



### 通学路、道路の安全性向上

老朽化したカーブミラーや道路区画線等の交通安全施設を更新し、市道の安全性を確保する

### 目標指標の推移

指標名	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	目標	評価
1. 犯罪率(人口1,000人当たりの刑法犯認知件数)(単位:件・単年)	4.4	結果	2.0	3.2				3.8	S
		達成率	100%	100%					
2. (1)スクールゾーン(小学校を中心とした半径約500メートルの範囲)内通学路での安全対策実施率(市道)(単位:%)	34.2	結果	67.9	83.0				100.0	B
		達成率	51.22%	74.16%					
2. (2)人身交通事故発生件数(単位:件・単年)	72	結果	63.0	64.0				42	D
		達成率	30.00%	26.67%					

### 評価の内容

「1. 犯罪率(人口1,000人当たりの刑法犯認知件数)」では、初年度に続き目標の達成ができた。コロナが5類に移行し人流が戻ることから、引き続き恵那警察署と連携を密にし、啓発活動を実施する必要がある。

「2. (1)スクールゾーン(小学校を中心とした半径約500メートルの範囲)内通学路での安全対策実施率(市道)」は目標水準をクリアできており、引き続き計画的に整備を進める。

「2. (2)人身交通事故発生件数」では、初年度とほぼ横ばいの結果となった。総ぐるみ街頭指導、職員による街頭指導等の実施し交通安全の意識の向上に努める。





# 6. 災害から生活を守る

安心

令和4年度実施



河川監視カメラを設置

リアルタイムで河川の状況を把握するため、市内河川5個所にカメラを設置



河川水位監視カメラ(吉田川)



恵那市消防本部指令室

令和5年度新規



消防指令業務を東濃5市で一本化

令和8年4月の運用開始に向け、基本設計及び実施設計を実施

## 目標指標の推移

指標名	基準値						目標	評価
		R3	R4	R5	R6	R7		
1. 災害時避難行動要支援者個別支援計画策定率(単位:%)	0.0	結果	0.0	0.0			100.0	E
		達成率	0.00%	0.00%				
2. (1) 緊急避難場所を知っている市民の割合(単位:%)	77.7	結果	87.7	87.4			89.0	A
		達成率	88.50%	85.84%				
2. (2) 総合防災訓練参集者の割合(単位:%)	47.2	結果	0.0	18.4			49.3	E
		達成率	0.00%	0.00%				

### 評価の内容

「1. 災害時避難行動要支援者個別支援計画策定率」では、令和4年度は個別避難計画作成の基礎となる避難行動要支援者名簿の作成に向けての準備を行った。令和5年度から名簿を活用し計画の作成を行う。

「2. (1) 緊急避難場所を知っている市民の割合」では、第2年度の達成水準を大幅に上回った。有事に備え広報や市ウェブサイトで更なる周知に努める。特に高齢者に対する周知を強化する必要がある。

「2. (2) 総合防災訓練参集者の割合」では、コロナの影響により参加者を地域の役員等に限定して実施したため目標指標を下回った。地域の実情に合わせた内容での訓練を支援し参集率の向上を図る。







# 7. 豊かな自然を守り、活かす

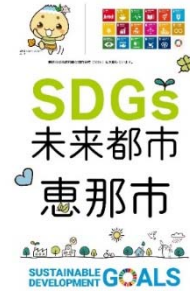
快 適

令和4年度実施



SDGs未来都市に選定

持続可能な開発目標(SDGs)達成に向けた取組を先導的に進めていく自治体「SDGs未来都市」  
として内閣府から選定



高機能バイオくん炭の活用による循環型農業の実現

令和5年度新規



資源循環・脱炭素農業の推進

処理に困っている栗の毬やもみ殻等を高機能バイオ炭に変換・活用し、循環型農業の実現を図る

目標指標の推移

指標名	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	目標	評価
1. (1)市内民有林間伐等整備面積(単位:ha・累計)	593	結果	1,791	2,385				5,400	D
		達成率	24.92%	37.28%					
1. (2)協定農用地面積(単位:ha・単年)	1,328	結果	1,323	1,318				1,401	E
		達成率	0.00%	0.00%					
1. (3)耕作放棄地解消面積(単位:ha・累計)	5	結果	12.3	24.8				73	D
		達成率	10.74%	29.12%					
2. 都市農村交流人口(単位:人・累計)	2,385	結果	4,275	6,134				17,300	D
		達成率	12.67%	25.14%					

評価の内容

「1. (1)市内民有林間伐等整備面積」では、R4年度594haの整備を実施したが第2年度の達成水準に達することはできなかった。今後は目標達成のため、作業道が整備されていない山林の間伐に対する対策が必要となる。

「1. (2)協定農用地面積」では、第2年度の目標に達していないため、地元団体の高齢化等の課題はあるが地域活動継続を引き続き支え、地域の営農組織を育て協定面積の増加に努める必要がある。

「1. (3)耕作放棄地解消面積」では、R4年度12.5haとなり解消面積は24.8haとなったが第2年度の達成水準に達していないため、担い手の確保及び農業委員会との連携し、多方面からの支援が必要となる。

「2. 都市農村交流人口」では、R4年度1,859人となり、初年度より増加したもののコロナの影響もあり目標水準には達しなかった。インバウンドの獲得と、新たな農業体験の検討・発掘と市外へのPRに努める必要がある。





# 8. 独自の歴史・文化を守り、活かす

快 適

## 令和4年度実施



明治天皇大井行在所多目的広場の整備

来館者の駐車場と、憩いの空間を整備

明治天皇大井行在所多目的広場



国史跡正家廃寺跡

## 令和5年度拡充



国史跡正家廃寺跡の保存と活用

古代寺院の様相を色濃く残す正家廃寺を遺跡の保存と歴史学習、体験の場として活用

### 目標指標の推移

指標名	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	目標	評価
1. 文化振興会が開催する伝統芸能大会・文化祭の参加者数(単位:人・単年)	4,721	結果	859	3,222				5,000	E
		達成率	0.00%	0.00%					
2. 中山道広重美術館・岩村歴史資料館・ひしや資料館の入館者数(単位:人・単年)	78,801	結果	19,509	29,323				96,000	E
		達成率	0.00%	0.00%					

### 評価の内容

「1. 文化振興会が開催する伝統芸能大会・文化祭の参加者数」では、コロナ感染状況が改善したことから、3年ぶりに伝統芸能大会を開催、また文化祭は11部門中10部門が開催できたが目標達成とはならなかった。今後は企画のブラッシュアップを諮り、若い世代への伝承も考えながら、参加者の増加を図っていく。

「2. 中山道広重美術館・岩村歴史資料館・ひしや資料館の入館者数」においては、初年度より改善は見られたもののコロナの影響により目標水準には達しなかった。今後は企画展の回数を増やすとともに、インバウンドの取り込みを図り入館者数の増加を目指す。





# 9. 美しく使いやすいまちをつくる

快 適

## 令和4年度実施



### 中央公園をリニューアル

子育て世代を中心に多世代が交流できる公園を目指して中央公園を再整備



リニューアル後の中央公園



危険性が高い空家

## 令和5年度継続



### 空家解消対策事業

安心安全な住環境を確保するため、倒壊の危険性があり緊急度の高い空き家の解体などに係る経費を補助(最大60万円)

### 目標指標の推移

指標名	基準値						目標	評価
		R3	R4	R5	R6	R7		
1. 特定空家解消率(単位:%)	50.0	結果	71.4	64.3			92.3	D
		達成率	50.59%	33.81%				
2. 都市計画道路整備率(単位:%)	49.0	結果	49.1	49.1			52.0	E
		達成率	3.33%	3.33%				
3. 地籍調査実施率(単位:%)	41.8	結果	45.1	45.3			43.6	S
		達成率	100.00%	100.00%				

### 評価の内容

「1. 特定空家解消率」では、特定空家が新たに7件認定され合計28件となり内18件(R4は3件)を解消したが、第2年度の目標水準には達しなかった。目標達成のため法改正に伴う制度の見直しと、制度の周知を図る必要がある。

「2. 都市計画道路整備率」では、R4では新たな供用開始した路線はなく、35.74km中17.54kmの整備となっている。第2年度の目標水準に達していないが、関係機関等と協議を進め引き続きリニアまちづくり基盤整備計画に基づき、令和7年度までに計画的に整備を進める。

「3. 地籍調査実施率」では、対象面積452.59km<sup>2</sup>中R3年度までに14.96km<sup>2</sup>、R4は1.19km<sup>2</sup>の登記が完了し、目標を達成した。引き続き新規2地区を基本的に計画的に実施する。





# 10. 行きたいところへ行ける

快 適

## 令和4年度実施



### 交通コンシェルジュを設置

交通弱者や来訪者が快適に移動できるよう、ウェブサイトとオペレータ・電話窓口による、公共交通を総合的に案内する窓口「交通コンシェルジュ」を設置



交通コンシェルジュチラシ



まちなか巡回バス

## 令和5年度新規



### 移動サービスの提供による外出支援

バス運賃の統一と路線の新設、延長、増便を実施

### 目標指標の推移

指標名	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	目標	評価
1. 公共交通機関の年間利用者数(単位:人・単年)	761,490	結果	479,099	454,695				800,000	E
		達成率	0.00%	0.00%					

### 評価の内容

「1. 公共交通機関の年間利用者数」では、コロナの影響もあり昨年と同様に利用が低下した。これまで、まちなか巡回バスの運行や交通コンシェルジュ事業、バス路線の見直しなどを行ってきたが、今後は目標達成に向け特に高齢者が安心して利用できる移動サービスを整えていく必要がある。





# 11. モノや情報が容易に得られる

# 快 適

## 令和4年度実施



### 公共施設の予約をオンライン化

利便性向上のため、公共施設の予約システムを構築。令和5年4月1日より運用開始。



公共施設予約サイト



スマホ教室の様子

## 令和5年度継続



### デジタルデバйд対策

誰もが安心してデジタルツールを利用できるようにするため、スマートフォンやアプリの使用方法を学ぶ教室を開催

### 目標指標の推移

指標名	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	目標	評価
1. 日用品の買い物に不便を感じた市民の割合(単位: %)	8.1	結果	19.2	18.9				7.6	E
		達成率	0.00%	0.00%					
2. 市民へのICT サービス提供数(単位: 件・累計)	0	結果	5	12				15	D
		達成率	33.33%	80.00%					

### 評価の内容

「1. 日用品の買い物に不便を感じた市民の割合」では、令和4年度市民意識調査において、18.9%にあたる人が「不便である」と回答し、初年度と同様に基準年となる令和元年度調査から大幅に数値が上がっている。恵南商工会が運営する「くるくるまめしょっぷ」や民間参入の移動販売車による買い物弱者に対する支援に加え、まちなか巡回バス等の交通施策やICTを活用した買い物支援などの支援を複合的に行う必要がある。

「2. 市民へのICT サービス提供数」では、デジタル商品券、交通コンシェルジュ、障害者手帳アプリ等の整備を実施し、目標水準を達成した。引き続き、第2期ICT活用推進計画(R4.4～)に基づき、ICTを活用し地域課題の解決を図る。





# 12. 誰もが学び続けられる

## 活 力

### 令和4年度実施



#### 嚶鳴フォーラムin恵那2022を開催

子ども嚶鳴フォーラムチラシ



ふるさとの先人を、まちづくり、人づくり、心そだてに生かす全国各地の自治体が一堂し、嚶鳴フォーラムin恵那を開催



ペッパープログラミング教室

### 令和5年度拡充



#### ICT教育ラボの設置

子どもたちの新しい学びの支援や、ICT教育推進のための研究、学校現場へのきめ細やかなサポートを実施するため、「ICT教育らぼ」を市民会館の2階に新設

目標指標の推移

指標名	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	目標	評価
1. (1)「家で、自分で計画を立てて勉強をしている(小6)」の全国平均との差(単位:%)	7.4	結果	5.3	1.8				8.0	E
		達成率	0.00%	0.00%					
1. (2)「家で、自分で計画を立てて勉強をしている(中3)」の全国平均との差(単位:%)	4.6	結果	0.2	7.1				5.0	S
		達成率	0.00%	100.00%					
2. 学んで生かす人(生涯学習で得た知識や成果を生かして、地域や社会に還元していく人)(単位:人・単年)	0	結果	9.0	11.0				40	D
		達成率	22.50%	27.50%					
3. (1)「地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある(小6)」の全国平均との差(単位:%)	△ 4.5	結果	△ 0.4	△ 3.4				全国と同水準	E
		達成率	0.00%	0.00%					
3. (2)「地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある(中3)」の全国平均との差(単位:%)	8.4	結果	6.2	3.9				10.0	E
		達成率	0.00%	0.00%					

評価の内容

「1. (1)「家で、自分で計画を立てて勉強をしている(小6)」の全国平均との差」では、全国71.1%に対し恵那市72.9%であった。  
「1. (2)「家で、自分で計画を立てて勉強をしている(中3)」の全国平均との差」では、全国58.5%に対し恵那市65.6%であった。  
両目標とも全国水準は超えているものの、中学生のみ第2年度の目標水準が達成できた。今後は家庭学習時間の増加に向け、学習アプリの活用調査や検証を行い、合わせて授業の質の向上を図り学力向上に向けて進めていく必要がある。  
「2. 学んで生かす人(生涯学習で得た知識や成果を生かして、地域や社会に還元していく人)」では、初年度より上昇したものの、第2年度の目標水準の達成はできなかった。目標達成のため入り口の講座の魅力を高め、継続して受講してもらえる環境を整える必要がある。  
「3. (1)「地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある(小6)」の全国平均との差」では、全国51.3%に対し、恵那市47.9%であり全国の水準に達していない。  
「3. (2)「地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある(中3)」の全国平均との差」では、全国40.7%に対し、恵那市44.6%であり、全国水準は超えているものの、第2年度目標水準に達していない。  
中学生は総合学習やボランティア活動への参加により全国水準を上回った。両事業とも目標達成に向け、コミュニティスクール(学校運営協議会)と地域学校協働活動との連携による、学校と地域でつくる学びの推進を図る必要がある。





# 13. 暮らしに豊かさが感じられる

## 活 力

令和4年度実施



笠置峡アクアスポーツ教室を開催

笠置峡ボート・カヌー場にて、カヌー、ボート、サップ等のアクアスポーツ教室を開催



カヌー教室の様子



小平奈緒氏

令和5年度継続



オリンピックによるスケート教室

オリンピックゴールドメダリストの小平奈緒氏を招き、スケート教室とトークショーを開催

### 目標指標の推移

指標名	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	目標	評価
1. スポーツ施設の利用者数(単位:人・単年)	360,738	結果	230,984	299,379				363,000	E
		達成率	0.00%	0.00%					
2. (1)学んで生かす人(生涯学習で得た知識や成果を生かして、地域や社会に還元していく人)(単位:人・単年)	0	結果	9	11				40	D
		達成率	22.50%	27.50%					
2. (2)競技人口(単位:人・単年)	4,200	結果	3,773	3,482				4,200	E
		達成率	0.00%	0.00%					

### 評価の内容

「1. スポーツ施設の利用者数」では、初年度より改善はあったもののコロナの影響により施設利用者は伸びず目標水準は達成できなかった。オンライン予約の導入によるサービスの向上と、運動やスポーツを通じた健康づくり、子どもの健全育成のため、各種スポーツ教室・イベントの開催を支援することで、体を動かすことの習慣付けを行い利用者の増加を図る。

「2. (1)学んで生かす人(生涯学習で得た知識や成果を生かして、地域や社会に還元していく人)」では、初年度より上昇したものの、第2年度の目標水準の達成はできなかった。目標達成のため入り口の講座の魅力を高め、継続して受講してもらえる環境を整える必要がある。

「2. (2)競技人口」では、目標水準に達していない。地域のスポーツ人口を高めるため中学校の部活動の指導者や指導団体の育成を図ることが必要となる。





# 14. もっと住みたいまちになる

## 活 力

### 令和4年度実施

#### 移住と定住を推進



空家バンクの活用促進と、えなで暮らそう奨励金等の交付を行い、移住や定住を推進



移住フェアの様子

### 令和5年度新規



#### 恵那未来キャンパスの設置



スキルアップ講座の様子

バロー恵那店2階に大学生や高校生等、若者を対象にした新しい学びの場の拠点を整備。データサイエンスやスキルアップスクール等を開催

#### 目標指標の推移

指標名	基準値						目標	評価
		R3	R4	R5	R6	R7		
1. 新規住宅用地区画数(単位:区画・累計)	0	結果	21	28			200	E
		達成率	10.50%	14.00%				
2. 20~39歳女性人口に占める20~39歳女性転出者数の割合(単位:%)	△ 2.63	結果	-9.68	-10.39			△ 1.84	E
		達成率	0.00%	0.00%				
3. 空き家バンク成約数(単位:件・単年)	27	結果	32	26			33	E
		達成率	83.33%	0.00%				

#### 評価の内容

「1. 新規住宅用地区画数」では目標水準に達していない。目標達成のため民間事業者が行う宅地造成に対する助成制度の創設や、リニアまちづくり基盤整備計画に基づき区画整理事業などを実施し、令和7年度までに計画的に整備を進める。

「2. 20~39歳女性人口に占める20~39歳女性転出者数の割合」では、R4.4.1時点で20~39歳の女性人口は3,473人であったが、令和4年度では361人が転出し割合では10.39%となった。定住施策を引き続き実施するとともに、転入施策も重点的に実施する必要がある。

「3. 空き家バンク成約数」では、目標水準は達成できなかった。ニーズに対し登録物件が足りていない現状であるため、地域と連携し空き屋の活用を進めていく取り組みが必要となる。







# 15. 産業をつくり、育てる

## 活 力

### 令和4年度実施



#### プレミアム付商品券を発行

市内の消費喚起を促し、地域経済の活性化を目的にプレミアム付商品券を発行。令和4年度は紙商品券の他、電子商品券を販売



電子商品券事業

### 令和5年度新規



#### 省エネルギー設備の導入支援



ゼロカーボンシスティな宣言式

省エネ設備・機器を導入し、エネルギー使用量及び温室効果ガスの削減に取り組む事業所を支援 (上限50万円)

#### 目標指標の推移

指標名	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	目標	評価
1. (1) 恵那市商工振興補助金を活用した事業件数(単位:件・単年)	34	結果	54	98				50	S
		達成率	100.00%	100.00%					
1. (2) 6次産業化に取り組む生産者団体等数(単位:件・累計)	3	結果	6	7				9	B
		達成率	50.00%	66.66%					
2. (1) 林業就業者数(単位:人・単年)	54	結果	53	57				65	D
		達成率	0.00%	27.27%					
2. (2) 農業の担い手経営体数(単位:人・単年)	114	結果	119	116				120	D
		達成率	83.33%	33.33%					
3. 商店街の空き店舗活用件数(単位:件・累計)	4	結果	5	9				7	S
		達成率	33.33%	100.00%					

#### 評価の内容

「1. (1) 恵那市商工振興補助金を活用した事業件数」では、コロナの状況に落ち着きが見られたことや補助メニューを充実したことにより、活用事業所が増加しR7目標値を上回る数値となった。引き続き経済活動の活性化に繋げていく。

「1. (2) 6次産業化に取り組む生産者団体等数」では、新たに1団体が取り組みを開始し、第2年度の目標水準を達成することができた。今後は競争力のある団体の育成と商工、観光事業者と連携した商品開発を支援していく。

「2. (1) 林業就業者数」では、初年度より改善したものの第2年度の目標水準は達成することができなかった。自然環境に対する意識が高まり若い世代の就業が増えつつあるため、移住希望者を中心に情報発信を行い確保、育成に繋げていく。またスマート林業による業務の効率化に対する支援が必要となる。

「2. (2) 農業の担い手経営体数」では、第2年度の目標水準を達成できなかった。引き続き新規就農しやすい環境を整備するとともに、認定農業者の家庭内継承や女性や障がい者などの多様な人材の参入支援を行う必要がある。

「3. 商店街の空き店舗活用件数」では、4件の店舗活用があり、目標を上回った。今後は事業承継や経営相談を強化し空き店舗を出さない取り組みにも注力していく。





# 16. もっと訪れたいまちになる

## 活 力

### 令和4年度実施



全国山城サミット恵那大会を開催

10月22日、23日に開催し、2日合わせて20,200人が来訪。大会に合わせ、講演会、ガイドツアー等を実施し、恵那の魅力を発信



山城サミットチラシ



フォーラムエイト・ラリージャパン2022の様子

### 令和5年度継続

FIA世界ラリー選手権(WRC)



WRC開催に合わせた地域イベントの開催や特産品の開発等により市内消費の拡大や知名度向上に繋げる

### 目標指標の推移

指標名	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	目標	評価
1. (1) 観光消費額(単位: 億円・単年)	87	結果	81	93				100	C
		達成率	0.00%	46.15%					
1. (2) 外国人延べ宿泊数(単位: 人・単年)	18,000	結果	517	260				30,000	E
		達成率	0.00%	0.00%					
2. スポーツ交流人口数(単位: 人・単年)	13,425	結果	9,545	8,542				26,000	E
		達成率	0.00%	0.00%					

### 評価の内容

「1. (1) 観光消費額」では、2022WRC、全国山城サミット恵那大会の開催やアウトドアブームを背景とした来訪者の増加等により第2年度の水準を達成することができた。引き続き地域資源を活かした誘客に取り組む。

「1. (2) 外国人延べ宿泊数」では、新型コロナの影響で外国人観光客の受け入れが停止していたため、大幅な減少となっている。R5ではコロナが5類に移行し外国人観光客の受け入れが再開するため、台湾や欧米市場向けのプロモーションを行い、インバウンド獲得に繋げる。

「2. スポーツ交流人口数」では、4年ぶりに日本大正村クロスカントリーを開催したが、交流人口の増加には繋がらなかった。2大マラソン大会の参加者増に向け、開催時期や方法について工夫を加え、域外からの集客の拡充を図る必要がある。





# 17. 資源を活かし、まちを潤す

## 活 力

### 令和4年度実施



#### たべとるマルシェの開催

市内農産物のPRと域内消費の拡大のため、図書館でたべとるマルシェを開催



たべとるマルシェの様子



発酵食品

### 令和5年度新規



#### 全国発酵食品サミットの開催

11月に「全国発酵食品サミットinえな」を開催し、恵那の発酵文化や発酵食品を全国に発信する

#### 目標指標の推移

指標名	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	目標	評価
1. 1世帯1日当たりのごみ排出量(単位:kg・単年)	2.0	結果	1.94	1.78				1.7	B
		達成率	20.00%	73.33%					
2. (1)木の駅間伐材取扱量(単位:t・累計)	860	結果	2,559	3,314				7,000	D
		達成率	27.67%	39.97%					
2. (2)市民が1年間に必要とする総カロリーに占める市内生産農作物カロリーの割合(単位:%・単年)	56.3	結果	58.9	54.7				63.0	E
		達成率	38.81%	0.00%					
2. (3)学校給食での地場産物使用率(単位:%)	20.9	結果	15.5	18.1				26.0	E
		達成率	0.00%	0.00%					
3. 年間資源リサイクル率(単位:%)	61.8	結果	60.9	61.7				65.0	E
		達成率	0.00%	0.00%					

#### 評価の内容

「1. 1世帯1日当たりのごみ排出量」では目標水準を達成することができた。今後は生ごみを資源として回収する方法を検討し、生ごみの減量を目指す。

「2. (1)木の駅間伐材取扱量」では、R4に755tの取扱いがあったが第2年度の目標水準に達しなかった。今後は杉檜に加え広葉樹も対象に加えることで、取り扱い量の増加を図っていく。

「2. (2)市民が1年間に必要とする総カロリーに占める市内生産農作物カロリーの割合」では、指標にある流通段階のロスを含めた供給熱量(1日あたり2,433キロカロリー)で54.7%の自給率となり目標水準を下回った。今後、耕作放棄地の解消と畑地化の支援による高収益作物の栽培を推進する必要がある。

「2. (3)学校給食での地場産物使用率」では、年間199,383.5kgの学校給食食材の内、36,021.7kgの市内食材の使用であったため18.1%の使用率となった。使用率向上のため地域で取り組む高収益作物の受け入れや少量でも受け入れできるような体制の構築が必要となる。

「3. 年間資源リサイクル率」では、年間ごみ排出量14,501tに対して8,940tのリサイクル量となり目標水準の達成はできなかった。引き続き地域に常設する「資源ごみの回収拠点」を増やし、合わせてカーボンゼロに向けた効果をPRすることで市民の機運を高め、リサイクル率の向上を図っていく必要がある。





# 18. リニア中央新幹線開通を活かす **活 力**

## 令和4年度実施



恵那西工業団地の分譲募集スタート

令和5年度完成予定の恵那西工業団地で、3区画中、2区画の分譲先が決定



企業立地協定締結式



スマートICイメージ

## 令和5年度継続



(仮称)恵那峡スマートICの整備

恵那峡SAへのスマートICの設置検討を進め、周辺土地利用の促進と新たな観光ルートの形成を図る

### 目標指標の推移

指標名	基準値						目標	評価
		R3	R4	R5	R6	R7		
1. (1) 恵那市公式Facebook 市外在住者フォロワー数(単位:人・単年)	579	結果	835	917			1,200	C
		達成率	41.22%	54.43%				
1. (2) 新規住宅用地区画数(14-1再掲)(単位:区画数・累計)	0	結果	21	28			200	E
		達成率	10.50%	14.00%				
2. 企業立地件数(単位:件・累計)	0	結果	0	0			3	E
		達成率	0.00%	0.00%				
3. 観光消費額(単位:億円・単年)	87	結果	81	93			100	C
		達成率	0.00%	46.15%				
4. リニアまちづくり基盤整備計画前期計画事業実施率(単位:%)	0.0	結果	0.00→13.9	24.7			65.0	D
		達成率	0.00→21.38%	38.00%				

### 評価の内容

「1. (1) 恵那市公式Facebook 市外在住者フォロワー数」では、初年度より82人増加し第2年度の目標水準を上回った。移住関連情報や地域の情報の発信の強化を図り移住者の増を目指す。

「1. (2) 新規住宅用地区画数」では目標水準に達していない。目標達成のため民間事業者が行う宅地造成に対する助成制度の創設や、リニアまちづくり基盤整備計画に基づき区画整理事業などを実施し、令和7年度までに計画的に整備を進める。

「2. 企業立地件数」では、整備中の恵那西工業団地3区画について令和4年5月から分譲募集を開始した。うち2区画は立地協定を締結した。引き続き県との連携や企業展への出展など分譲に繋げる必要がある。

「3. 観光消費額」では、2022WRC、全国山城サミット恵那大会の開催やアウトドアブームを背景とした来訪者の増加等により第2年度の水準を達成することができた。引き続き地域資源を活かした誘客に取り組む。

「4. リニアまちづくり基盤整備計画前期計画事業実施率」では目標水準を達成できていない。目標達成のため関係機関と連携し、着実にリニアまちづくり基盤整備計画に基づいた事業を進め、令和7年度までに計画的に整備を行う。





# 19. 市民サービスを向上させる

担い手

## 令和4年度実施



### マイナポイントの申請サポートを実施

市役所市民課窓口で、申し込みに必要な端末をお持ちでない方や端末操作に不慣れな方を対象に、予約・申し込みの支援を実施



戸籍住民票の発行



マイナンバー普及啓発

## 令和5年度継続



### マイナンバーカードの普及

市役所以外の窓口においても交付申請ができるようにすることで、申請しやすくし、普及率の向上に繋げる

#### 目標指標の推移

指標名	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	目標	評価
1. 窓口サービスなどの利用者の「不満」の割合(単位: %)	2.3	結果	2.7	2.3				5.0以下	S
		達成率	100.00%	100.00%					
2. 経常収支比率(単位: %)	84.3	結果	81.5	87.4				88.0以下	S
		達成率	100.00%	100.00%					
3. 実質公債費比率(単位: %)	4.3	結果	0.3	0.0				5.0以下	S
		達成率	100.00%	100.00%					
4. 将来負担率(単位: %)	-	結果	-	-				0.0以下	S
		達成率	100.00%	100.00%					

#### 評価の内容

全ての目標指標において目標値を上回っている。  
「1. 窓口サービスなどの利用者の「不満」の割合」では目標を達成することができた。更なるサービスの向上のため「やや不安」と感じる人の割合の減少も目指すとともに、ワンストップ窓口の発展や新たな窓口ツール等の導入を検討する。





# 20. 地域コミュニティを守り、活かす 担い手

## 令和4年度実施



飯地コミュニティセンターの大規模改修を実施

施設の長寿命化と利便性向上のため、老朽化した建物の改修、設備更新を実施



整備後の飯地コミュニティセンター



ふるさと納税広告

## 令和5年度拡充



ふるさと納税の推進

新たな民間の専用ポータルサイトを導入し、地域課題解決のためのさらなる財源確保と恵那の魅力発信を図る

### 目標指標の推移

指標名	基準値						目標	評価
		結果	R3	R4	R5	R6		
1. 地域計画の進捗率(単位: %)	90.9	結果	91.1	91.1			100.0	E
		達成率	2.20%	2.20%				
2. ふるさと納税件数(単位: 件・単年)	3,171	結果	10,826	9,281			15,000	C
		達成率	64.71%	51.65%				
3. 地域間連携の地域数(単位: 地域数・単年)	10	結果	10	10			13	E
		達成率	0.00%	0.00%				

### 評価の内容

「1. 地域計画の進捗率」では、地域計画基本目標にある45項目中41項目の事業を実施したが、第2年度の目標水準に達していない。引き続き地域計画基本目標の進捗管理を実施していく必要がある。

「2. ふるさと納税件数」では、初年度より減少したものの9,281件159,677千円の納税があり、第2年度の目標水準の達成ができた。今後は目標達成のため、登録事業者の増と商品の充実を図るとともに、ふるさと納税専用ポータルサイトを追加し、寄附ができる窓口を広げる。

「3. 地域間連携の地域数」では、コロナの影響により地域の活動自体が停滞していたことにより地域間の新たな連携には至らなかった。今後、地域活動が再開するため効果的な地域間連携の取り組みを進める必要がある。





# 21. まちの担い手が育ち、つながる **担い手**

## 令和4年度実施

### 生理の貧困対策

小中学校の女子トイレに生理用品を設置することにより、女性特有のストレスを軽減



女性の支援



活動団体による子ども服リユースイベント

## 令和5年度継続



### まちづくり活動と担い手育成を支援

まちづくりの担い手が育成されるとともに、公共性、公益性の高い創意と工夫にあふれたまちづくり活動を支援

### 目標指標の推移

指標名	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	目標	評価
1. 大学生がまちづくり活動に携わった回数(協定締結大学)(単位:回・単年)	9	結果	0	0				15	E
		達成率	0.00%	0.00%					
2. 市民活動団体継続の割合(単位:%)	70.0	結果	64.7	64.7				75.0	E
		達成率	0.00%	0.00%					

### 評価の内容

「1. 大学生がまちづくり活動に携わった回数(協定締結大学)」では、コロナの影響で活動が停滞し基準値を下回る結果となった。コロナ後のまちづくりを見据え、積極的に大学生との関わりの場を設けるとともに、新たな協定締結大学を増やす必要がある。

「2. 市民活動団体継続の割合」では、初年度と同様にまちづくり市民活動補助金により3年間の助成を受けた後の活動の継続が、17団体中11団体となっており目標を下回った。社会課題を捉えた取り組みを多くあり、事業継続に向けた相談体制を構築を図り継続率の向上を図る必要がある。

